

指導の ユニバーサルデザイン研修 6月4日



6月4日、大分県教育センターより講師の先生を招いて「指導のユニバーサルデザイン」研修を行いました。

一般的なユニバーサルデザインは、障がいのある人にとって暮らしやすい町作りを進めることです。それを進めることによって、全ての人々にとっても暮らしやすい町作りに繋がります。

特別支援教育についてのユニバーサルデザインは、特に支援を多く必要とする子どもについての授業作りを進めることです。そのことが、他の子どもにとっても有意義で効果的な指導に繋がります。

これから小田小学校で進めようとしている「指導のユニバーサルデザイン化」というのは、新任教職員にとって必要な指導技術の基本を整理していくというものです。そのことを進めることによって、経験のある教職員も自らの指導方法を見直し改善していくことに繋がります。

その方法として、これまでの経験や研究授業などで学んだ技術を、実際の指導の場を想定して整理し紙面にまとめていきます。一つの具体案ができあがったら、それを実践で確かめ、全員でさらに改良を進めていきます。

また、子どもの実態は、時代と共に変化していくものなので、常に見直し・改善を進めることが必要です。

小田小学校では、今年度の「指導のユニバーサルデザイン化」として、
「集団の子ども前で話す時の話術」 「漢字指導」
「計算指導」 「一授業における留意点」
「教室環境作り」

等の作成を計画しています。